

※百分率は小数第二位で四捨五入するため、合計が100%にならない場合があります。



歩行者の交通事故発生状況

令和4年中

1 歩行者事故の発生状況

令和4年中の歩行者が死傷した交通事故は、前年と比較して、発生件数と負傷者数は減少しましたが、死亡事故は18件18人（前年比+5件+5人）と増加し、全交通事故死者数の約半数（48.6%）を占めました。

【歩行者事故の発生状況】

（令和4年中）

区分	発生件数	死亡事故		負傷者数			
		件数	死者数	重傷	軽傷	計	
本年	505	18	18	120	376	496	
前年	513	13	13	154	359	513	
増減	数	-8	5	-34	17	-17	
減	率	-1.6	38.5	38.5	-22.1	4.7	-3.3

【歩行者の交通死亡事故発生状況】

（令和4年中）

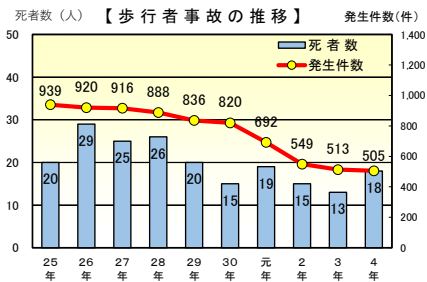
No.	発生前年月日等							発生場所	路線	第1当事者		事故類型	死者 高齢者
	年	月	日	時	曜	昼夜	天候			高齢者	車種		
1	4	1	23	1	日	夜	曇	石巻市田道町	市道	-	普貨	その他	-
2	4	1	27	8	木	昼	晴	気仙沼市岩月長平	市道	-	軽乗	その他	◎
3	4	1	28	0	金	夜	晴	仙台市若林区荒町	国道	-	軽貨	横断中	◎
4	4	3	2	23	水	夜	晴	仙台市若林区荒町	県道	◎	普乗	その他	◎
5	4	2	17	22	木	夜	晴	東松島市矢本	踏切	-	歩行者	列車	-
6	4	3	31	18	木	夜	晴	大崎市田尻	県道	◎	軽乗	横断中	◎
7	4	4	23	14	土	昼	晴	石巻市南中里	駐車場	◎	普乗	その他	◎
8	4	6	28	9	火	昼	曇	気仙沼市四反田	市道	◎	軽貨	横断中	-
9	4	8	10	22	水	夜	晴	仙台市泉区加茂	県道	◎	普乗	その他	-
10	4	8	29	21	月	夜	晴	仙台市青葉区本町	市道	-	普乗	横断中	-
11	4	9	9	23	金	夜	曇	仙台市太白区鹿野	国道	-	普貨	横断中	-
12	4	10	22	1	土	夜	曇	仙台市太白区富沢	市道	◎	普乗	その他	-
13	4	11	11	8	金	昼	晴	仙台市若林区荒井	市道	-	普乗	その他	◎
14	4	11	14	22	月	夜	晴	大河原町字新桜町	国道	-	普乗	その他	-
15	4	11	15	17	火	夜	晴	仙台市太白区八木山	市道	-	普乗	横断中	◎
16	4	11	17	15	木	昼	晴	仙台市泉区紫山	市道	◎	普乗	横断中	◎
17	4	12	10	18	土	夜	晴	松島町松島	国道	-	普乗	横断中	◎
18	4	12	22	16	木	夜	雨	松島町松島	国道	-	大貨	横断中	◎

2 歩行者事故の発生推移（基礎データ平成25年～令和4年）

平成25年以降、歩行者事故の発生件数は減少傾向にあり、死者数は増減を繰り返しながらも、緩やかな減少傾向にあります。

令和4年中は、発生件数は過去10年間で最少となりましたが、死者数は増加しました。

また、全人身交通事故が10年間で58.2%減少（平成25年9,851件→令和4年4,117件、-5,734件）しているのに対し、歩行者事故は46.2%の減少（平成25年939件→令和4年505件、-434件）にとどまっています。



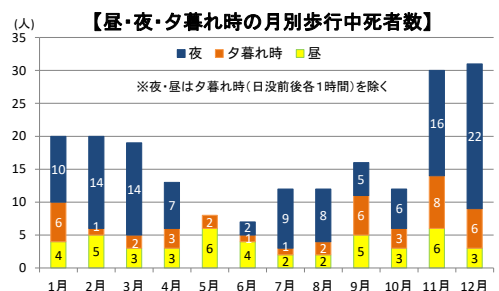
区分	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年
発生件数	939	920	916	888	836	820	692	549	513	505
死者数	20	29	25	26	20	15	19	15	13	18
うち高齢者	15	19	13	12	13	9	10	9	11	10
負傷者	945	908	913	889	832	832	693	553	513	496

3 過去10年間の歩行中死者の月別発生状況

（平成25年～令和4年）

歩行中の交通事故死者数を月別に見ると、11月及び12月が特に多くなっています。

昼夜別では、冬季には夜間の事故が多発しており、秋から冬にかけては夕暮れ時の事故も多くなっています。



※百分率は小数第二位で四捨五入するため、合計が100%にならない場合があります。

4 歩行者事故の発生特徴等(令和4年中)

(1) 道路横断中の事故が半数以上

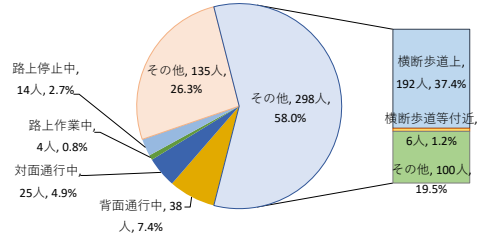
死傷者の半数以上(514人中298人、58.0%)が道路横断中の事故でした。

内訳は、横断歩道上が192人と最も多く、横断歩道付近や歩道橋付近が6人、その他横断が100人となっています。

横断中に前方直進車両(原付以上)と衝突した事故は、日中は右からの車両との衝突が多く、夜間は左からの車両との衝突が多くなっています。

どちらのケースとも、夜間は重傷を負うことが多くなっています。

【歩行者の状態別死傷者】



【横断中事故の車両(前方直進)の進行方向】(人)

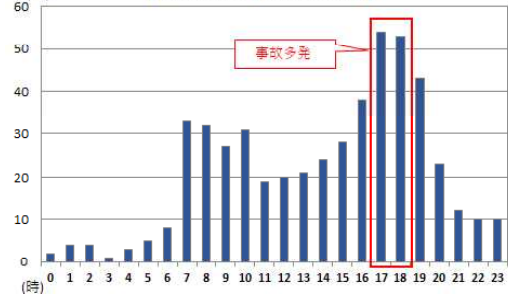
負傷の程度	右からの車両		左からの車両	
	昼	夜	昼	夜
死亡	2	2		1
重傷	6	7	7	10
軽傷	22	3	17	11
総計	30	12	24	22

(2) 17時台~18時台の発生が多い

発生時間別では、17時台~18時台の時間帯に多発(505件中107件、21.2%)しました。

昼夜別では、約4割(216件、42.8%)が夜間に発生し、全事故における夜間の割合(4,117件中1,150件、27.9%)を14.9ポイント上回りました。

【時間別歩行者事故発生件数】



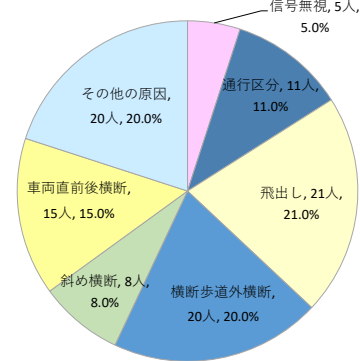
(3) 歩行中死傷者の2割近くに違反あり

歩行中死傷者の2割近く(514人中100人、19.5%)には何らかの違反が認められ、特に飛出しが21人で最多となり、次いで横断歩道外横断が20人で多くなりました。

違反が認められた歩行中死傷者の43.0%(100人中43人)は重傷以上でした。

一方、違反がなかった歩行中死傷者では、重傷以上が23.4%(414人中97人)で、違反が認められた歩行者を19.6ポイント下回りました。

【歩行者側の原因】

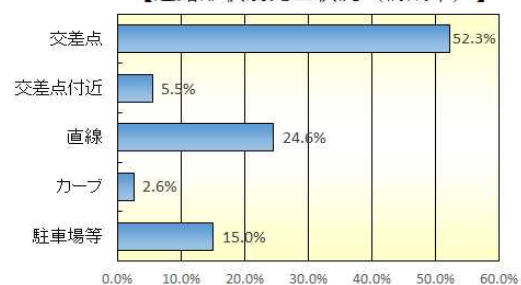


(4) 交差点での発生が5割以上

道路形状別では、交差点での発生が5割以上(505件中264件、52.3%)を占めました。

また、交差点に次いで直線(124件、24.6%)、駐車場等(76件、15.0%)の順に多くなりました。

【道路形状別発生状況(構成率)】



(5) 学職別では高齢者が多い

死傷者の年齢別・学職別では、65歳以上の高齢者が多く、死傷者の約3割(514人中136人、26.5%)を占めました。

※学職別は主なものを抜粋

区分	計	年齢別										学職別				
		~14	15~19	20~24	25~29	30代	40代	50代	60代	70代	80~	未就学児	小学生	中学生	高校生	高齢者
死傷者数	514	52	28	30	33	64	71	67	59	66	44	2	44	7	15	136
死者数	18				1	2		3	3	6	3					10
負傷者数	496	52	28	30	32	62	71	64	56	60	41	2	44	7	15	126